

2024年度(総合型選抜)AO選抜入学試験
薬学部「課題探究型方式」

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
薬学科	8	4	4
創薬科学科	2	1	1
計	10	5	5

※学部計は複数の学科・学域・専攻等で募集している場合のみ記入してください。

(2) 本入学試験の目的

次のような者を積極的に評価し、受け入れることを目的としている。

1. 自然科学の各分野に関心を持ち、当該分野の諸課題を追求・解決しようという意欲を持つ者
2. 入学後、薬学部での学びの上に、自然科学各分野における興味・関心をさらに発展させようという意欲を持つ者

2. 試験内容

(1) 第1次選考

エントリーシートと調査書

(2) 第2次選考

小論文と面接による総合的評価

3. 出題の意図

(1) 第1次選考

基礎学力について確認し、学習意欲、志望動機および将来の展望が明確であることを確認した。

(2) 第2次選考

小論文については、課題発見能力、論理的思考能力、および論述能力を確認した。

面接においては、探究テーマへの取り組み姿勢、能動的学習能力、適性、コミュニケーション能力を確認した。

4. 評価のポイント

(1) 第1次選考

エントリーシートと調査書より、理科・数学の基礎学力、志望動機や学習意欲・関心等を含め総合的に評価した。

(2) 第2次選考

探究テーマは「未来の医療について」であり、本テーマに沿った課題発見能力、課題探究能力、論理的思考能力、および論述能力を評価した。薬学科の選考では、先端的な医療に関心を持ち、高度専門職業人としての薬剤師あるいは薬学研究者となることを強く志望しているか、という点を確認した。創薬科学科の選考では、医薬品創製および関連分野において基礎研究および臨床開発に携わり、グローバルに活躍することを強く志望か、という点について確認した。

5. 解答状況

(1) 第1次選考

志願者の半数について、理科・数学の基礎学力、能動的学習意欲が不十分であると判断し、不合格とした。

(2) 第2次選考

全ての受験者について、小論文での課題発見能力、論理的思考能力、および論述能力が十分であり、面接においてもその課題に関する質問に明確に解答できた。また志望動機、入学後の展望、将来の展望、コミュニケーション能力についても面接時に確認し、全ての受験者を合格と判断した。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

受身的な姿勢で学習するのではなく、自ら課題を見つけ積極的に学習する学生を求めています。課題探究テーマに対してしっかり取り組んで、その内容について論述してください。それが受験生自身の主体的な学習活動であるか否かについては面接で確認します。薬学は、物理、化学、生物学の総合的学問ですので、入学前に理科・数学の基礎学力を身に付けておく必要があります。

以上